



春期開催報告
第30回
Jリーグ
4月28日・5月5日合併号掲載
第31回
セレッソ大阪
5月12日号掲載

アイテム ^{30th} しごとと探検隊

アイテムしごと探検隊は
「しごとの素晴らしさを伝えたい」という
私たちの思いから始まりました。
実際の職場に足を運び、
そこで働く人の話を聞くことを通して、
しごとの大切さ、素晴らしさに出会ったり、
発見できることを願っています。

今回の探検先
**公益社団法人
日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)**

●隊員紹介(あいうえお順)●

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 大川くん(6年生) | 大木くん(6年生) | 小笠原くん(5年生) | 岡本さん(6年生) |
| 國分くん(5年生) | 近藤くん(5年生) | 島津くん(5年生) | 末永くん(5年生) |
| 鈴木くん(5年生) | 立川くん(5年生) | 立沢さん(5年生) | 田中くん(6年生) |
| 鳥居さん(6年生) | 芳賀くん(5年生) | 橋本くん(6年生) | 平山さん(6年生) |
| 広野くん(6年生) | 堀田さん(5年生) | 宮元くん(6年生) | 山根くん(6年生) |





Jリーグの舞台裏は、驚きと発見の連続!

今回の探検先は…
公益社団法人
日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
 東京都文京区のJFAハウス内に位置するJリーグ。チェアマン室や約50人のスタッフからなるフロアを中心に企画・運営が行われている。同じビル内には、オフィシャルグッズを扱う「Jリーグエンタープライズ」、映像を管理する「Jリーグメディアプロモーション」、写真を撮影・記録する「Jリーグフォト」など関連会社がある他、「日本サッカーミュージアム」もあり、全国のサッカーファンが日々訪れている。

●探検実施日：2014年3月27日(木)



Jリーグ流挨拶で元気に探検開始!

今回の「アイテムしごと探検隊」は、毎回多くの応募があるJリーグの探検だ。抽選で選ばれた20名の小学生が、緊張しながらも期待に満ちた表情で出発する。

Jリーグに到着すると、村井チェアマンが登場。はじめに、挨拶の仕方を教えてくれた。「まずは、相手の目をしっかりと見る。そして胸をはって、握手をしながら大きな声で、こんにちは!。これがJリーグ流の挨拶です」

チェアマンは一人ひとりと挨拶を交わしながら、「こうすれば世界に出て行った時に、みんなと友だちになれるよ」と笑顔で話してくれた。



「ワールドカップブラジル大会で使われるのは、ブラズーカ」という名前。これは、ブラジル国民が自分たちに誇りを持って表現する言葉です」

この「ブラズーカ」は、熱で接合するサーマルボンディングという製法を用い、ボールの縫い目をなくすことで、どこを蹴っても同じ反発力になるという。

続いて、颯爽と登場したのは今回のナビゲーター、JリーグOBの北澤豪さん。「今日は僕が隊長だよ」と、気さくに子どもたちに声をかける。

「探検って、色々発見すること。だからどんどん見て、聞いて、たくさん発見しよう!」

その掛け声で探検が始まった。



用具でサポート。Jリーグを世界一に。

まず登場したのは、ボールやレフェリーフラッグなど、様々な用具を製作しているモルテンの鈴木さん。歴代の16種類のボールには、全て名前がついているそう。

スカパー・ブロードキャスティングでサッカー中継ディレクターをしている軽部さん。1試合の中継につき、アナウンサーやリポーター、カメラマンなど約30人が携わっている。ディレクターの仕事は、数ある映像の中から瞬時にベストなシーンを選択すること。

「ゴールを決めた瞬間、サポーターが喜んでい顔、そして相手チームの悔しそうな表情など、色々な角度から放送することで、試合をもっと面白く伝えることができます。魅力的な試合中継をすることで、サッカーの素晴らしさを伝え、未来の日本サッカーを強くしたいと思っています」



スタンドを盛り上げる応援グッズ

応援グッズを身にまとい登場したのは、Jリーグエンタープライズの奥山さんと木暮さん。グッズの製作過程を説明してくれた。

「二つの商品を作る為に、たくさんの方が携わっています」

1年間に約二千種類を作り上げると聞いて、子どもたちもびっくり。「自分でデザインしたもの、サポーターが身につけている姿を見る時が一番嬉しいです」と、仕事の楽しさを教えてくれた。



色々な仕事で、サッカーの歴史を作る。

続いては、チェアマンルームに案内される。特別にチェアマンの椅子に座らせてもらって、子どもたちは大満足。1993年からの全試合映像が保管されているJリーグメディアアプロモーションでは、北澤さんのスーパーゴールシーンを見て大興奮だ。更にJリーグエンタープライズでは、数々のグッズを見て、子どもたちの目も輝く。最後に、北澤さんを先頭にサッカーミュージアムを探検。ロッカールーム再現ブースでは、試合前にスパイクやユニフォームを準備する人など、それぞれ担当が分かれ多くの人が仕事をしているという話を聞いた。そして北澤さんは「日本サッカーの歴史の一部を創ることができたと思っています。今度は君たちが歴史を創る番だね」と、熱いメッセージを子どもたちに送ってくれた。



当初は緊張気味だった子どもたちも、新しい友達ができ元気いっぱい。アイテム本社に戻り、チーム毎にディスカッション。今日見たこと、感じたことをみんなの前で発表した。日頃見ている華やかなJリーグの舞台も、様々な人の仕事で支えられていることを知り、北澤隊長が最初に言っていた色々な発見ができたようだ。



プロサッカー選手の仕事とは?

「プロサッカー選手の仕事って何だろう?」子どもたちに問いかける。サッカーをすること、試合に出て勝つ、など声がある。「自分の夢はもちろん、サポーターの夢を叶える為にボールを蹴ることだと思っているんだ。ゴールを決めた瞬間、スタンドで涙を流して喜んでる人がいる。そんな光景を見るたびに、サポーターの夢も背負っている」と強く感じるよ!」

そう熱く語ってくれた。

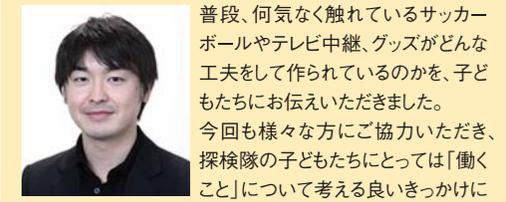
←Jリーグ 村井満チェアマンとの記念撮影



感想コーナー

- Jリーグの仕事についてたくさん知れてうれしかった。びっくりすることばかりだった。
- Jリーグのうらの仕事は、おもての倍以上もありました。
- サッカー選手はいろいろな人に支えられていることがわかりました。
- いろんな所を見学してとても勉強になりました。

公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
 事業・マーケティング統括本部 樋口 順也さん



普段、何気なく触れているサッカーボールやテレビ中継、グッズがどんな工夫をして作られているのかを、子どもたちにお伝えいただきました。今回も様々な方にご協力いただき、探検隊の子どもたちにとっては「働くこと」について考える良いきっかけになったのではないかと思います。Jリーグでの「しごと探検隊」も今年で8年目。この探検をきっかけに、Jリーグ選手やスタッフを目指す人が出てくることを楽しみにしています!!

●「アイテムしごと探検隊」ご協力をお願い

訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか?

お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989

